

第 3 委員会報告資料

「(仮称) 福岡市青少年科学館」へのロボスクエアの
一部機能統合について

平成 27 年 3 月
経済観光文化局

「(仮称) 福岡市青少年科学館」へのロボスクエアの 一部機能統合について

1 ロボスクエアの経緯

ロボスクエアは、「ロボカップ2002福岡・釜山大会」を契機として、平成14年に福岡市が中心となり設立したもの。ロボットに関する「体験集客」、「教育」及び「関連産業支援」の3つの機能を有し、これまでの来館者が175万人を突破するなど、国内外の方々に親しまれている。

2 「(仮称) 福岡市青少年科学館」へのロボスクエアの一部機能統合

「(仮称) 福岡市青少年科学館特定事業の実施方針(案)」において、子どもたちが科学を体験し、楽しむことを通じて、その自由かつ自発的な学習活動を支援することを事業目的の一つとしている。

この事業目的と合致する、ロボスクエアのもつ「体験集客」、「教育」の機能について、青少年科学館に統合することとしたもの。

3 今後の方針

青少年科学館には、これまで培ってきたロボスクエアの機能及びブランドイメージを継承できるよう、また、ロボスクエアでこれまで行ってきた活動等を引き継ぎ、展示やイベントを実施することにより、青少年科学館の魅力や機能向上に貢献できるよう、引き続き関係局と協議を進めていく。

なお、関連産業支援機能については、引き続き経済観光文化局において検討していく。

(参考)

1. ロボスクエアの3つの機能

機能	主な実施事業等	今後の方針
体験集客	○ロボット展示紹介 ○ロボットパフォーマンスショー 等	青少年科学館へ機能統合
教育	○工作教室, プログラミング教室 ○ロボット競技会 等	
関連産業 支援	○インキュベート室 (2室) ○共有工房	引き続き, 経済観光文化局 で検討

2. (仮称) 福岡市青少年科学館特定事業要求水準書 (案) (抜粋)

※第2委員会報告資料より一部抜粋

ロボスクエアに関する要求水準

- ・ロボスクエア統合にともない, 本エリア内に「ロボスクエア」と称するコーナーを設置する。ここでは, 既存の「ロボスクエア」(所在地: 福岡市早良区百道浜2-3-2 TNC放送会館2階)(以下「現ロボスクエア」という。)において展示しているロボット等の展示物・備品のうちの一部(現ロボスクエアから引き継ぐ展示物・備品については「参考資料」を参照)を展示するとともに, 事業者による新しい展示や体験を追加して展開する。
- ・展示分野のうちの「産業・テクノロジー」分野の必須提案項目である「ロボット技術」の一部とするなどの提案については差し支えない。但し, 福岡市が商標登録している「ロボスクエア」の名称を使用し, 市が指定する字体での表示を設置すること。
- ・現ロボスクエアにおけるロボット等に関する教室, 大会及び講座の開催等による学習支援及びロボット等に関する展示, 紹介並びに情報の収集及び提供の機能について継承するため, 現ロボスクエアにおいて実施しているロボット関連イベント・大会または工作教室・講座のうち, 「参考資料」に掲載している事業については引き継ぐこと。